

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表							
記入年月日	平成19年3月27日		記入者	山口 和夫		連絡先	5182
平成18年度部名	学校教育部		課名	学校教育課		課長名	小塚 牧夫
平成19年度部名	学校教育部		課名	学校教育課		課長名	佐藤 陽一
事務事業名	学校安全教育推進事業						
予算上の事務事業名	学校安全教育推進事業						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120			
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして						
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します						
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造						
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実						
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等							
3 個別計画の概要							
計画名							
計画年次		年度～		年度			
4 事業形態の区分	研修・講座			5 事業開始年度	平成18年度		
6 事業概要							
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）		
いじめ、誘拐、性暴力等から自らを守る基本を習得させるため、様々な暴力から身を守る教育プログラムであるCAPワークショップを市内全小・中学校で実施する。					小学生・中学生及び教職員		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。							
CAPワークショップを実施することにより、人権とはなにかを考え、暴力を人権の立場からとらえ、ロールプレイや話し合いを通して自分や友だちを大切にする気持ち（人権意識）や暴力から自分を守る気持ちを育てる。							
実施期間 平成18年5月8日～平成19年1月24日							
実施対象 市内公立小学校 65校 児童 192学級／教職員65校							
実施学年 原則として1学年							
実施内容 児童向けワークショップ 実施時間：授業2校時分（90分～100分）							
授業1時間目：CAPワークショップ／授業2時間目：トークタイム（相談活動）							
教職員向けワークショップ 実施時間：2時間（120分）							
7 関連事業・類似事業又は他市の状況							
学校教育課 人権教育事業							
8 事業費の推移 〔単位：千円〕							
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業費	0	0	5,790	7,880	7,880		
一般財源	0	0	5,790	7,880	7,880		
受益者負担金	0	0	0	0	0		
その他の特定財源	0	0	0	0	0		
人件費の合計	0	0	0	0	0		
事業コスト合計	0	0	5,790	7,880	7,880		
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率							
事業名 (主たる事業名)	学校安全教育推進事業			対象名称 と単位	小学校1年生・中学校 1年生の学級数		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業コスト(主たる事業)	0	0	4,790	7,880	7,738		
対 象 数	0	0	65	111	109		
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	73,692	70,991	70,991		
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.96	1.00		
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの							

指標名と単位	実施対象学級数の割合	指標式と指標の説明	実施した学級数／実施対象学級数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	実施対象学級数の割合	指標式と指標の説明	実施した学級数／実施対象学級数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]	：良好な状態を維持する事業			
	[★★★]	：概ね良好な状況である事業			
	[★★]	：見直しを行う必要がある事業			
	[★]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実	児童が自分の身を自分で守るためのCAPワークショップ(教育プログラム)を全小学校で実施し、児童の安全に関する意識の高揚を図ることで、より安全が確保され、さらに本年度は全中学校で実施するよう拡充する予定であり、事業の充実を図っている。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
児童の安全に関する意識が向上するとともに、人権に対する理解が深まり、自分の幸せだけを考えるのではなく、他の人の気持ちも考えるようになってきている。また、いじめなど人の嫌がることをしないようになるとともに、勇気をもって、嫌なことに正面から向き合うような姿勢が生まれるなど、成長の跡がうかがえる。			全小学校が実施するため、日程の調整がかなり難しく、尚且つ実施団体の規模に大きな差があり、学校の実施希望日時に十分に答えることができなかった。本年度は全中学校まで拡充するため、日程調整はさらに困難を極めるため、臨機応変な対応が望まれる。学校と団体との調整がキーポイントになると予想される。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実	児童・生徒の安全、安心に資するとともに、人権に対する理解を深める取組みであり、対象者を拡充する方向で事業の実施を進める。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			